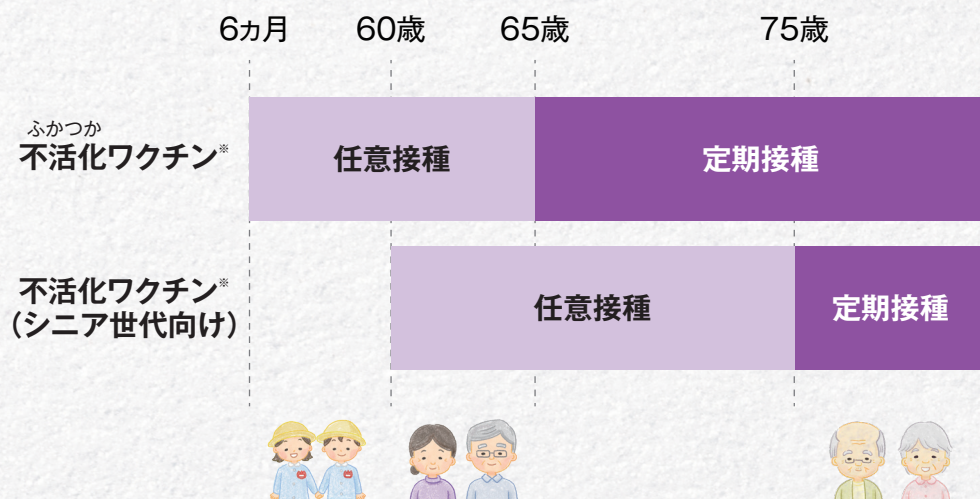


年齢ごとに適したワクチンを選びましょう

現在、国内で接種可能なインフルエンザワクチンは複数あり、
選択できるワクチンは年齢により異なります。

60歳以上の方は、シニア世代向けワクチンと、それ以外のワクチンの
2種類から選ぶことができ、75歳以上の方は、どちらのワクチンを選んでも、**定期接種***として受けられます。

※定期接種：予防接種法に基づき、市区町村が実施する予防接種です。接種費用の一部は市区町村が負担します
(負担額は市区町村により異なります)。



※不活化ワクチン：感染力をなくしたウイルスからつくられるワクチン

インフルエンザの発症と重症化・合併症の予防のために、
あなたに合ったワクチンについて
先生に相談してみましょう。

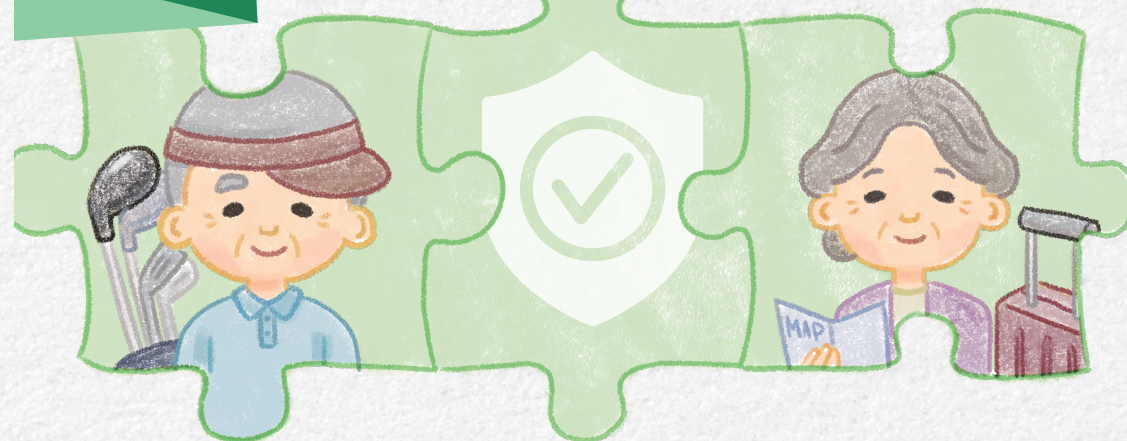


インフルエンザワクチンのこと、
かかりつけ医に相談してみませんか？



60歳以上の
皆さんへ

シニア世代の インフルエンザ予防



監修 関西医科大学 内科学第一講座 呼吸器感染症アレルギー科 教授
関西医科大学附属病院 感染制御部 部長
宮下 修行 先生

インフルエンザの症状と重症化・合併症

インフルエンザは、インフルエンザウイルスにより引き起こされる急性の呼吸器感染症です

インフルエンザの主な症状

- 38℃以上の高熱
- 頭痛
- 全身倦怠感
- 筋肉痛
- 関節痛
- 等



シニア世代では、インフルエンザにかかると慢性基礎疾患の悪化や身体機能の衰えがみられることがあります

慢性基礎疾患の悪化・身体機能の衰え

- 喘息やCOPD（慢性閉塞性肺疾患）の悪化
- 心筋梗塞
- 血糖異常
- 腎障害
- 転倒しやすくなる
- フレイル
- 寝たきり
- 等

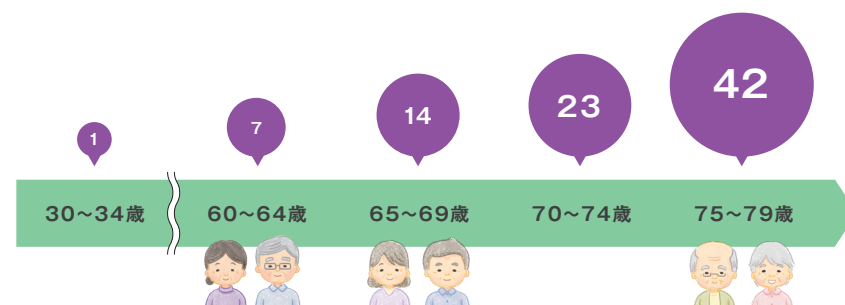


年齢が上がるにつれ、インフルエンザによる入院や死亡リスクが高くなります

国内の年齢階級別にみたインフルエンザ重症化[※]率

(30～34歳の重症化率を1とした場合)¹⁾

※重症化:集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例又は死亡した症例



【対象・方法】わが国で保険診療を受けた約1億1,100万例を対象に、全国網羅的な医療データベースである「レセプト情報・特定健診等情報データベース」(NDB)を用い、2017年9月から2020年8月の3年間に季節性インフルエンザで医療機関を受診した延べ3,166万5,539例の患者を特定し、受診後28日以内の重症化の割合を算出した。

【調査の限界】NDBには真の病名ではない「検査病名」「レセプト病名」が含まれており、これらを完全に排除するのは困難である点等。

1) 第74回(令和4年3月2日)新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード:
日本の医療データベースから算出された季節性インフルエンザの重症化率, 2022年3月2日
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000906106.pdf>
(2026年3月23日閲覧)より作図

シニア世代がインフルエンザにかかると…

インフルエンザにより入院した方の23%が自立した日常生活を送ることが難しくなったとの海外の報告があります²⁾。



心筋梗塞のリスクが9.80倍、脳卒中のリスクが7.82倍に上昇したとの海外の報告があります³⁾。



2型糖尿病のある方の血糖異常の起こる割合が74%増加したとの海外の報告があります⁴⁾。



インフルエンザ脳症にかかった65歳以上の方の20%が亡くなったとの報告があります⁵⁾。



シニア世代では、インフルエンザになると重症化したり合併症を引き起こしたりすることがあるので、まずはしっかり予防することが大切です。

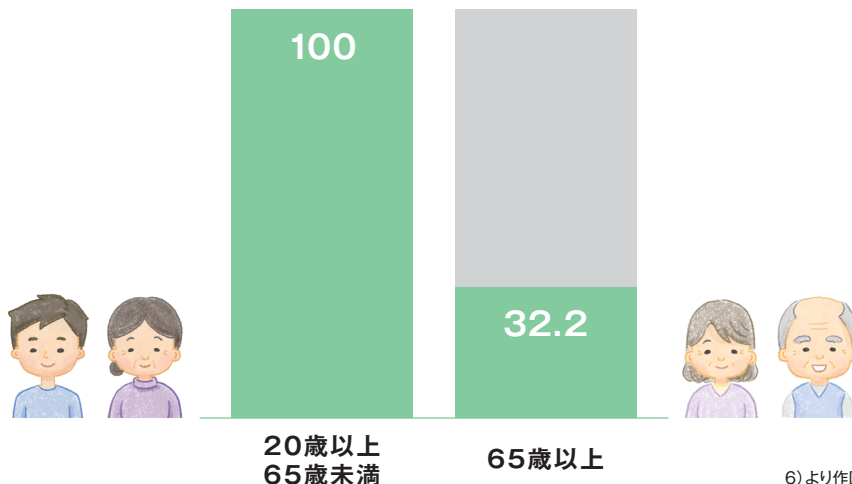


2) Andrew MK, et al : J Am Geriatr Soc. 2021 ; 69(3) : 696-703 著者にサノフィ・バースール社から研究助成金等を受領した者が含まれる。 3) Warren-Gash C, et al : Eur Respir J. 2018 ; 51(3) : 1701794 4) Samson SI, et al : J Diabetes Sci Technol. 2021 ; 15(1) : 44-52 著者6名はサノフィ・バースール社の社員である。 本研究はサノフィ・バースール社の支援により行われた。 5) Okuno H, et al : Clin Infect Dis. 2018 ; 66(12) : 1831-1837

シニア世代の免疫機能は…

国内における年齢層別にみたワクチンの有効性

(インフルエンザHAワクチンの65歳未満における有効性を100とした場合)⁶⁾



シニア世代では、加齢とともに免疫機能が低下し、感染症にかかりやすくなったり、ワクチンの効果が弱まる傾向があります⁷⁾。

インフルエンザワクチンの有効性について、65歳未満の方における有効性を100とした場合、65歳以上の方における有効性は32.2でした⁶⁾。

【方 法】1997年1月1日から2018年11月20日までに英語又は日本語で発表された論文を対象とし、PubMed、EMBASE、医中誌の文献データベースから検索した。検索語は、日本人の季節性インフルエンザに関連するものとし、MeSH用語又はEmtree用語を使用しタイトルと抄録を検索した。その結果、1,147報が特定され、タイトルと抄録を審査した後、367報の全文論文と6報の灰色文献を検討したところ、143報が選択基準を満たした。除外及び年齢による層別化の結果、年齢別相対リスク(RR)推定値について、1998/99年から2015/16年の計21報にメタアナリシスに必要なデータが含まれていた。ワクチン接種者と非接種者のインフルエンザ発症のRRを記述した研究をランダム効果メタアナリシスにより解析し、日本の文献で報告されているインフルエンザワクチンの有効性を全体及び年齢層別に推定した。RR推定値は次の式でVE(有効性推定値)を推定するために使用した。 $RR=1-VE$

【結 果】VEは65歳未満の40.1%[95%信頼区間(CI)：-57.3, 77.2]に対し、65歳以上では12.9%[95%CI：-8.0, 29.8]であった(p値=0.21、ランダム効果モデル)。

【研究の限界】ほとんどの研究が観察コホート研究であり、結果に影響を及ぼす系統的バイアスが除外できない点等。

6) Taniguchi K, et al.: Influenza Other Respir Viruses. 2021;15(2):293-314 著者4名はサノフィ・バースール社の社員又は元社員である。本研究はサノフィ・バースール社の支援により行われた。 7) Liu Z, et al.: Signal Transduct Target Ther. 2023; 8(1):200

シニア世代のインフルエンザの重症化・合併症を防ぐ ために

インフルエンザを予防するには、
どうしたらいいのかな？



手洗い、うがい、マスク等の基本的な感染対策
に加えて、**予防接種**を受けることが大切です⁸⁾。



予防接種を受けていても
インフルエンザにかかることがあるけれど、
予防接種って意味があるの？



インフルエンザワクチンは、インフルエンザの感染や
発症を完全に防ぐことはできないものの、重症化や
合併症を予防する効果が証明されています⁹⁾。



特に**予防接種**を受けた方がいいのは、
私のように持病がある場合かしら？



そうですね、もともと慢性の病気がある方は
その病気が悪化する可能性があります。
これもインフルエンザによる合併症の1つ
といえます。



特に持病のない私には、
予防接種は必要ないかも？



いいえ。持病がなくても、
シニア世代はインフルエンザが重症化したり、
合併症を引き起こすリスクが高いとされています。
インフルエンザがきっかけで
身体機能が衰えることもあるので注意が必要ですよ。



なるほど。私たちの年代では特に、
予防接種について考えてみるのが
大切なんだね。



手洗い、うがい、マスクだけでは
不十分なのね。
今度かかりつけの先生に
相談してみようかしら。



8) 厚生労働省:令和7年度 今冬の急性呼吸器感染症(ARI) 総合対策
<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2025.html> (2026年3月23日閲覧)

9) 一般社団法人日本ワクチン産業協会:予防接種に関するQ&A集:2025年
http://www.wakutin.or.jp/medical/pdf/qa_2025.pdf (2026年3月23日閲覧)